

富山新聞 八月二十日の一面の夏野菜高騰

の記事を読んで

大西 央利子

台風による影響や長雨の影響により、主力産地の東北地方や栃木県、群馬県、長野県で出荷量が減ったことと品薄状態になつていることが原因で夏野菜の価格が高騰して、いろいろしい。今後も高騰は続ります。また、6月の長雨により、白菜やキャベツの生育が遅れるとなど全国各地で品薄状態になつてあります。

しかし、私達消費者は、価格が高騰したからといって野菜を買わなければいけにはしません。その日の価格の変動によつて今日は何を買うかを見入出すわければなりません。私の家ではミニトマトなどトマトスープや家庭の庭で作れる野菜を作つた。近所のうしの物々交換、職場の人からおすぐわけをもらったりしてみると、だいお金を使わないようになります。

東京都中央卸売市場では、キウイが平年



の2倍以上になつてゐるらしいです。消費者
からは、
「価格を見ると買うのを悩んでしまう。
との声が漏れ、小売りの現場は、値上げや小
分け販売に踏み切つてあります。東京都練馬区
のスリパードアキタイ関町本店では、2週間
前に税抜きで一本30円だったキョウトリを65円
に、ナスも一袋128円から180円に値上
げをしました。」よくスリパードアキタイ関
町本店を通う消費者は、「安い物を選びなど
買ひ方を工夫するしかない」とため息まじり
に話した。と新聞に書かれてありました。私の
祖母も
「お盆が明け2ヶ月後に価格が上がつて嫌い
なるわ。」
と怒つた口調で言つていました。
この新聞記事を見て父、祖母、私は
「これも地球温暖化の影響のことかな。
」「お盆玉返してもらいたいからいいやあ。
」「なんていふんば話をしました。



私はいつもあまり新聞を読みません。
もう、この記事はすぐ目に止まり、見入つてしましました。自分の食生活に大きく関わることもあるのが真剣に読みました。
この記事は一面やったので開いこんで止まりましたが、毎日、細かいところまでいきこ目に通していふと政治や社会の動きばかりではなく、地域のことや自分の生活にかわる二とがわかるんだろうなあと思いました。
いろは新聞記事を読んで家族との会話をもと増やしていくのです。




**東京都中央卸売市場における
主な野菜の価格動向**

	7月	8月上旬	8月18日	主な産地
キュウリ	価格 (平年比)	210円 (86%)	194円 (92%)	538円 (249%)
ナス	価格 (平年比)	306円 (97%)	218円 (84%)	381円 (172%)
キャベツ	価格 (平年比)	69円 (87%)	73円 (107%)	110円 (139%)
白菜	価格 (平年比)	66円 (103%)	91円 (130%)	136円 (160%)
				長野

*農林水産省まとめ。価格は1kg当たり。平年比は過去5年間の月別または旬別の平均値との比

夏野菜の価格が高騰している。台風と長雨の影響により、主力産地の東北地方や栃木県、群馬県、長野県で出荷量が減り、品薄状態になっているのが原因だ。東京都中央卸売市場ではキュウリが平年の2倍以上になっている。消費者からは「価格を見ると買つたを悩んでしまつ」との声が漏れ、

夏野菜高騰



東京都中央卸売市場

キュウリ価格2倍超

小売りの現場は、値上がりや小分け販売に踏み切っている。全国の価格動向の指標となる東京都中央卸売市場では、7月に平年並みで推移していた長野県産の白菜の

日時点では1袋当たり136円と6割高。群馬県産と岩手県産のキャベツも1袋110円と平年より4割高

が落ち込み、8月に入つてから以降には少雨で出荷量

生育遅れる

農林水産省によると、6月の長雨などで白菜やキャベツの生育が遅れた。7月

県内でも品薄

富山県内の食品スーパー関係者によると、県内の市場に入つてくる野菜も、葉物やキュウリ、ナスなど一般的に数量が減つてゐる。「今後も高騰は続きそうで、ますます仕入れが難しくなつてゐる」と語つた。

このスーパーでは販売価格を値上げしており、「客足に響かない」と懸念する。当面は小分け販売などで値じう感を出し、しのぐつもりだといふ。

農水省の担当者は「天候が順調に推移すれば、8月下旬から9月上旬にかけて出荷量が回復し、価格も落ちるのではないか」と話している。

値上げ、小分け

小売り量販店では販売価格の値上げに踏み切る店も始めた。東京都練馬区の

スーパー「アキダイ閑町本店」は、2週間前に税抜きで一本30円だったキュウリを65円に、ナスも1袋128円から180円に値上げした。

キュウリは1袋当たりの本数を8本程度から4~5本に減らし、価格を据え置いた。店を訪れた東京都練馬区の会社員根岸香奈子さんは「安い物を選ぶなど買い物方を工夫するしかない」とため息交じりに話した。

野菜の価格は、東京都中央卸売市場の動向を、他の市場が参考にするケースがある。他市場が品薄のときある。東京向けの野菜が転送されて東京の価格が上昇することもあり、東京の価格が全国の指標とされている。

大阪の卸売市場でもキュウリやキャベツが値上がりしている。